

三鷹市山本有三記念館企画展



文学の彩り

山本有三作品の
挿絵と装幀

2013
9/7 (土)

2014
2/23 (日)

開館時間：午前9時30分～午後5時

休館日：月曜日 ※月曜日が休日の場合は開館
9/17・18、9/24・25、10/15・16、11/5・6、
12/24・25、12/29～1/4、1/14・15は休館

入館料：300円(20名以上の団体200円)

※中学生以下、障害者手帳持参の方とその介助者、
校外学習の高校生以下と引率教諭は無料。

※「東京・ミュージアムぐるっとパス」を
ご利用いただけます。



主催 三鷹市・公益財団法人三鷹市芸術文化振興財団
協力 白井晟一建築研究所



文学の彩り

山本有三作品の
挿絵と装幀

新聞小説「生きとし生けるもの」「波」「女の一生」「路傍の石」で知られる山本有三は、「新聞小説は挿絵と二人でやる二人三脚」と語っていたように、読者が本文と共に目にする挿絵を大切に考えていました。また有三の著作の中には、大正・昭和期に活躍した画家や建築家が装幀を手掛けた単行本、限定出版された特装本、文字組まで指示したという自選集などがあり、装幀にも強いこだわりを持っていたことがうかがえます。

作家が生み出した物語を、芸術家の挿絵や装幀が彩る。新聞小説や本という物理的な制約もある中、両者の共同作業によって作品世界が作られています。本展を通して、「読む」だけではなく、文学を「見る」楽しみをお感じいただければ幸いです。

主な展示品



近藤浩一路画「黄昏一路」(「真実一路」挿絵原画)



田辺至画「波に吠える犬」(「波」挿絵原画)



中村研一装幀「女の一生」
(中央公論社 1933年)



川端龍子装幀「女人哀詞」
(四六書院 1931年)



白井晟一装幀の有三作品
(左から「真実一路」「新篇 路傍の石」「無事」「道しるべ」)

特別展示

9/7(土)～2/23(日)

新収蔵の山本有三草稿幅
「不惜身命」を
初公開いたします。



スケッチコンテスト入賞作品展示 10/17(木)～12/28(土)

山本有三記念館スケッチコンテストの入賞作品(最優秀賞1点
及び優秀賞2点)を展示いたします。

ボランティアガイド

土・日・祝日の午後1時～4時に解説を行っています。
事前申込は不要ですので、お気軽に声をおかけください。



三鷹市山本有三記念館

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀2-12-27
電話:0422-42-6233 ホームページ:<http://mitaka.jpn.org/yuzo/>

電車

JR中央線「三鷹駅」南口より徒歩12分
JR中央線・京王井の頭線「吉祥寺駅」南口(公園口)より徒歩20分

バス

三鷹駅南口よりみたかシティバス「むらさき橋」下車徒歩2分
吉祥寺駅南口より小田急バス「万助橋」下車徒歩5分